

令和5年度 上田市立 長小学校 自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価					
かしこく きよく たくましく	◎「かしこく」 自分をふりかえり よく考える子 (知) ◎「きよく」 ともだちとかかわり 思いやりのある子 (徳) ◎「たくましく」 すずんで取り組む ねばり強い子 (体)						
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	「自己発揮できる子どもの育成」						

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	授業・研究	子どもの実態をもとにした授業・研究～「健康教育」「人権教育」を柱として～	日々の授業の中で子どもの実態を蓄積し、教職員で共有することができたか。						
			子どもの実態をもとに、子どもとつくる授業づくりができたか。						
			研修会を年間通して行い、外部講師から、子どもの実態のとらえ方を見ることについて学び、それを日々の実践に生かすことができたか。						
	学級	一人ひとりの居場所がある学級～良さを認め合う活動を柱として～	一人ひとりの自信(自尊感情)につながる場を設定し、継続しているか。						
			子どもの実態を的確につかむために、子どもと対話し、教育相談を学期に1回行っているか。						
			家庭・学校・地域へ広がる あいさつ活動を進めているか。						
地域	地域と共に歩む～長っ子コミュニティスクールを柱として～	子どもの思いや願いと地域の素材をかけあわせた教育活動を取り入れることができたか。							
		長の自然・歴史(真田)・文化・伝統に学ぶ体験活動や交流活動を取り入れるために、地域の人材を発掘することができたか。							
児童会	願いの実現に向けて団結できる児童会～役立つ喜びを得る活動を柱として～	子どもたちの願いの実現に向けて、人に役立つ喜びを得られる活動を取り入れることができたか。							
		子どもたちは、活動を通して自己有用感をもつことができたか。							
学校運営		情報の発信	学校だより、学年だより、ホームページ、学校メール等で、自己発揮している子どもの様子を知らせているか。						
		家庭との連携	連絡帳、電話連絡、訪問などで、自己発揮している子どもの実態を中心に家庭との連絡を密にしているか。						
		危機管理	学校メールを活用したり見守り隊と協力したりしながら、児童の安全・安心を確保しているか。非違行為研修に取り組んでいるか。						

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった